

2020年8月27日

## 第五回定時総会

## 会長挨拶

皆さんこんにちは。日本マテリアルフロー研究センター会長の大庭靖雄です。当センターの第5回総会にご出席いただきありがとうございます。

例年とは違う、厳しい夏でございます。誠に残念ながら、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、できるだけ出席される方の数を抑え、文書による議決権行使をお願いするという形になりました。例年、総会に併せてやっている講演会や会員の交流の機会である懇親会が開けないことも誠に残念に思います。

さて、このセンターは、活動を開始して以来3年9か月が経過し、その間、会員数は、増加して参りました。昨年と比較して11社増加し、当初の52社から見ると現在では149社と、大きく増えてまいりました。

期待していたように、サプライチェーンを構成する多様な産業分野の会員企業が参加され、センターの活動基盤が充実してきたと思います。

ロジスティクス改善のための研究活動も一段と活発になってきています。

また、教育事業としては、ロジスティクス検定対応の合格講座を東京、大阪、名古屋で開いています。新型コロナウイルスの感染拡大に対処して、WEBによる講義を開始しました。さらに、広報啓蒙事業として、回を重ねてまいりましたアジアシームレス物流フォーラムにつきましては、時期を秋に変更したうえ、WEBを利用したものに大きく変更することにいたしました。リアルな展示が行えないことは残念ですが、多くの方にセミナーや会員企業の技術、サービスの情報提供ができますので、この機会を大いに活用して頂きたいと思います。

昨年度からは、センターに調査・企画委員会を新たに設け、必要とされるデータの収集に取り組む調査事業や、研究結果やフォーラムの成果を広めるためのセミナーなどの企画事業を進めています。

また、このセンターには、行政関係者、経営工学会などの学会の方、技術士包装物流会の皆様、中国機械工程学会の方などが、強い関心を寄せておられます。これらの方々の参加を得ながら、さらに研究活動を充実し、具体的な成果を出せるような活動を目指すこと、会員企業が参加して自主的に運営している研究会活動をサポートしていくこと、会員企業の新技術や、会員外の先端的な取り組みと会員とのマッチングを試みることなどにより、このセンターの機能を一段と強化して、会員企業に役立つ活動に取り組みたいと考えています。

ただ今、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響を被っています。先を見通すことは困難な状況ですが、人類の歴史を振り返ってみても克服できなかった感染症はありません。なんとかこれを乗り越え、その先をしっかりと展望してセンターの活動を充実させて参りたいと思います。

今日の総会では、決算に関する事、役員の選任に関する事が議題となり、事業報告や事業計画の説明などもございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。

本日の総会の審議を経て刷新される体制の元で、センターの業務の拡充に取り組み、外部への発信の強化に取り組んで参ります。この2020事業年度が、さらなる発展の年となりますよう、皆様方のお力添えをお願ひして、私の挨拶とさせていただきます。

有り難うございました。

以上